

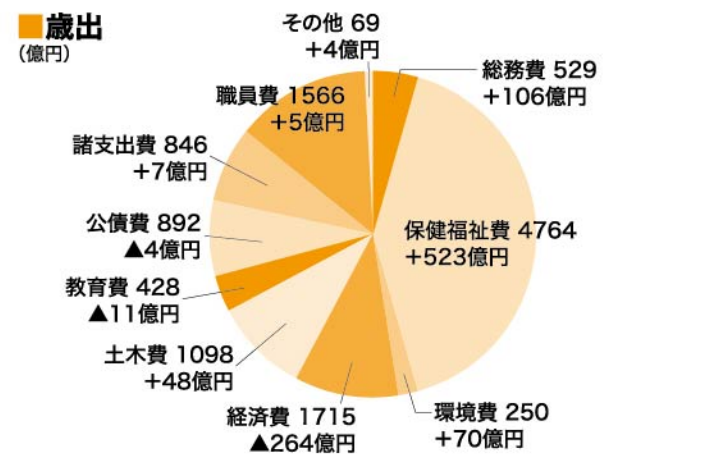
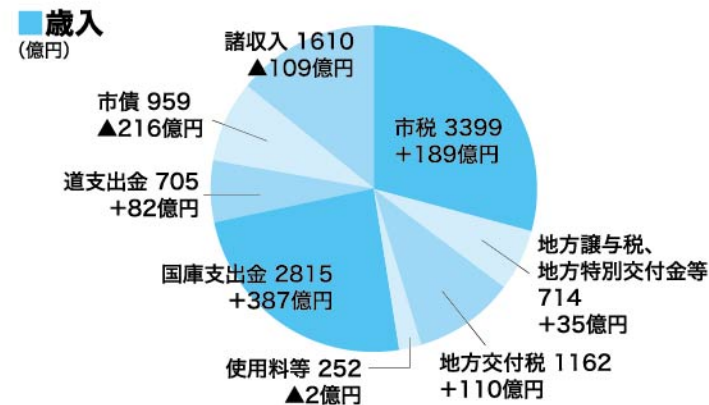
コロナ後を見据えて過去最大規模に！

札幌市新年度 一般会計当初予算 1兆1616億円

対前年度+476億円(+4.3%)

札幌市の令和4年度一般会計当初予算は、市民の命と暮らしを守るための感染症対策とコロナ後を見据えた社会経済活動の回復に重点配分され、過去最大規模となりました。

札幌市新年度予算案 一般会計の概要



主な事業と予算額

新型コロナウイルス関連	3回目のワクチン接種	167億7600万円
	検査、患者搬送、自宅療養者への対応	136億400万円
	中小企業への融資	1019億6100万円
	市内の宿泊割引、クーポン券配布	39億6500万円
	公共交通の需要喚起	17億4800万円
	文化芸術活動の支援	6億5200万円
子育て・教育	保育所の定員859人増	33億4300万円
	保育士らの処遇改善	10億4900万円
	ヤングケアラーの支援推進	600万円
	義務教育学校の開校準備	4500万円
福祉・市民生活	福祉に関する困りごとを支援する組織を北、東区役所に新設	1000万円
	特別養護老人ホームなどの建て替え、大規模修繕の補助	3800万円
	町内会のデジタル化支援	1億7200万円
経済五輪・まちづくり	新幹線延伸の工事費負担	72億6500万円
	JR札幌駅前などの再開発事業の推進	72億4200万円
	冬季五輪・パラリンピック招致	4億2300万円
	水素活用モデル街の整備などゼロカーボンの推進	21億6800万円

予算の柱

- 感染症の脅威から市民を守り、社会経済活動の力強い回復を支えるまちづくり
- 子どもを生み育てやすく、誰もが安心して暮らせる、やさしいまちづくり
- 魅力と活力にあふれ、新しい時代に向かって成長を続けるまちづくり

大雪に対する緊急対応で 除雪費300億円を突破！

札幌市議会は3月2日、道路除雪費の追加分22億円を含む補正予算案を可決し、年度当初の214億円と合わせると、今年度の除雪費は計303億円に上りました。2月21日に除雪費67億円を盛り込んだ補正予算を可決した後、さらなる大雪・暴風雪が発生し、追加経費が必要になったためです。

自民党議員会では例年はないほどの大雪により市民生活に影響が出ていることを受け、秋元克広市長に緊急の申し入れを行い、このことが今回の追加補正につながりました。生活道路の除排雪、除雪に従事する建設業者の維持・安定化に向けた支援策をしっかりと講じていきます。



伏籠川河川敷で下草刈り 市クマ対策費が3倍以上に

昨年6月、東区の住宅街にクマが出没し、男女4人が重軽傷を負う被害が発生しましたが、札幌市では新年度、クマの移動経路と推定される伏籠川河川敷などの下草刈りに着手し、クマが住宅街に近づくのを防ぎます。実施場所は北区の上篠路地区から東区丘珠町近辺までの約20キロで、クマ対策費は前年度の3倍以上にあたる約5千万円となる見通しです。市民の安心・安全の確保のために、しっかりと対策に取り組んでいきます。

政務調査だより 令和4年3月24日(木)発行

暮らしに安心・安全 魅力・活力ある東区へ！！

札幌市議会議員 東区

すずき健雄



—ごあいさつ— 「次の百年へ 新たなまちづくりに挑戦します」

2年を経過しても出口の見えない新型コロナウイルス感染症、そして例年になく災害的ともいえる大雪に見舞われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

今年は札幌市にとって大きな節目の年です。市制施行が100年前の大正11年(1922年)。そして、50年前の昭和47年(1972年)に政令市となり、アジアで初となる冬季五輪が開催され、地下鉄や地下街などが整備されました。その後飛躍的な発展を遂げ、積雪寒冷地に197万人もの人が暮らす世界的な大都市に成長しました。

札幌市が新年度予算を発表されましたが、全ての
人にやさしい共生社会の実現、都心などの再開発やバリアフリー化に配慮したりニューアル、感染症や自然災害などさまざまな危機への対応、地球環境を考えたエネルギー転換、市民生活を向上させるためのデジタル化の推進など、コロナ



後を見据えた新たな施策に積極的に取り組む方針が示されました。

札幌市などが招致を目指している2030年冬季五輪・パラリンピックについて、開催の是非を訪ねる郵送調査は、賛成が52%反対が39%という結果になりました。オリ・パラは市民の金銭負担への懸念から慎重な意見も一定数あり、既存施設を最大に活用したコンパクトな大会を目指すことなどを、さらに丁寧に説明していく必要があると感じています。

また、今年の記録的な大雪で、交通機関の乱れや道路渋滞などが発生し、ごみ収集までがストップしました。地球規模の気候変動の中で安心・安全な都市機能を維持するためには、これまでの方法を抜本的に見直さなければなりません。市民生活は今、さまざまな危機に直面しておりますが、市民の皆さまが安全・快適な生活ができるよう全力で取り組んでまいります。今後とも一層のご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

札幌市議会議員 鈴木健雄

札幌市議会議員

すずき健雄 政務調査だより

東 区

★事務所が移転しました

〒060-0909

札幌市東区北9条東7丁目1-15

TEL.011-721-8788

FAX.011-721-8070

<https://suzuki-kenyu.jp>

Facebook「鈴木健雄(けんゆう)」



プロフィール

【経歴】昭和26年3月、池田町生まれ。本名武元総務長官、箕輪登元郵政大臣の秘書を経て、平成7年、札幌市議会議員に初当選(連続7期当選)。平成27年5月、札幌市議会議長に就任。【家族】妻いずみさんと双子の里美さん・育美さん【趣味】カメラ、料理、カラオケ(裕次郎が得意?)【好きな言葉】初心不可忘

【現在の主な役職】札幌市調理師団体連合会会長、札幌市議会更生保護事業を支援する協議会会長、札幌市議会日独友好議員連盟会長、党防衛議員連盟副会長、札幌地方ラジオ体操連盟会長、札幌市カーリング協会顧問、保育関係・看護振興議員連盟各副会長、丘珠駐屯地協力会会長、保護司。

【議会・党の経歴】第31代札幌市議会議長、北海道市議会議長会会長、市議会自民党議員会会長、市議会日韓友好議員連盟会長、札幌・石狩地方議員連絡協議会会長。